

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

平成29年3月22日

和泉市長 あて

団体名 パソコン会

代表者名 迫田千鶴

所在地

電話

平成28年4月13日付け 和泉公民第 615号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 37,921 円  
(うち、対象経費 37,921 円)

2. 交付決定額 20,000 円

3. 添付書類

- (1) 事業報告書（様式第12号）
- (2) 収支決算書（様式第13号）
- (3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業報告書

<p>事業の名称</p>	<p>障がい者のためのパソコン教室</p>
<p>事業内容</p>	<p>（主な対象者） 和泉市障がい者手帳を持っている人</p> <p>（事業の実施期間） 4月～3月の毎月 第2木曜日 午後1時30分～3時30分</p> <p>（事業の実施場所） 和泉市北部総合福祉会館</p> <p>（事業内容） 和泉市障がい者手帳をお持ちの方を対象に、パソコン教室を開催。パソコン技術の習得およびインターネットの使い方の学習など。</p>
<p>事業の成果</p> <p>*別紙添付可</p>	<p>（参加者・スタッフの人数の状況） 参加者数 のべ49人、 スタッフ数 のべ48人</p> <p>（参加者の声）事業を受ける前、受けた後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン教室に来て、学ぶのが楽しい。</li> <li>・参加者の方たちと、話すことで元気が出る。</li> <li>・外出の機会を楽しみにしている。</li> <li>・講師の方々が、話をじっくり聞いてくださるのが嬉しい。</li> </ul> <p>（事業を実施したことによる目標達成状況及び効果） 家に閉じこもりがちな障がい者の、外出機会を増やすことができた。積極的に社会参加するきっかけづくりができた。</p> <p>（今回の申請事業の反省点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な方との違いを感じた。</li> <li>・話しくなかったり、動作が鈍く、誤作動を起こすことが多々あることに配慮が必要。</li> <li>・参加者への連絡が難しい。</li> </ul>
<p>課題（今後の方向）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部総合福祉会館への交通の便が悪く、参加しにくいとの声がある。</li> <li>・ちょいずに応募することで、参加者は増えたが、長続きしなかった。</li> </ul>

（添付書類）事業内容のわかる写真4～5枚（写真は返却いたしません。）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支決算書

事業の名称： 障がい者のためのパソコン教室

## 1. 【収入】 (単位：円)

項目	金額	積算根拠等
支援金	18,960	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	4,900	参加費（のべ49人×100円）
自主財源	14,061	
合計	37,921	

## 2. 【支出】 (単位：円)

費目	金額	積算根拠等（数量、単価等）
報償費	27,000	講師謝礼（サザンネット2,000円×12か月）、補助講師（1人×3000円）
役務費	2,634	通信費 82円、312円、140円、540円 1,560円
印刷製本費	15	コピー代 15円
消耗品費	5,356	パソコンインク代 5,356円
食料費	2,916	講師お茶代（432円、432円、324円 432円、432円、324円、540円）
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	37,921	
対象経費	37,921	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

（添付書類）

- ・ 事業の経費に係る領収書（原本）